

飛翔2022 高 大野高校通信

発行責任者：校長 北田 義徳

★「一人一芸の里」大野を巣立ち、それぞれの道へ(卒業式3/1(水))

新型コロナウイルスへの感染状況が全国的に落ち着きを見せている中、令和4年度岩手県立大野高等学校卒業式は3月1日に予定どおり挙行されました。当日は暖かな春の日差しの下、来賓の洋野町長様、PTA・同窓会の関係各位並びに保護者に見守られ、卒業生16名が堂々と卒業証書を手に入れました。3年間のマスク常時着用や、修学旅行の中止など当たり前だったことがそうではなくなった時代の中で、平和なことや平穏無事なことへの幸せを感じた一日でした。



第49回卒業生からのメッセージ(「進路の手引き」に寄せられた手記より)

👤 栄養士の資格を取得することができる専門学校は全国的にも少なく、県内では大学進学しか取得する方法がなく、勉強をこなさなかった私は関東に行くしかありませんでした。学校を決めるときに選択肢が少なくならないよう、勉強はしっかりとやったほうがいいと思います。

👤 後輩の皆さんには、時間を有効活用してほしいです。まだ大丈夫と思っただけは遅いです。限られた時間の中で進路活動をするのは難しいと思いますが、空いた時間を活用して取り組んでみてください。きっといつかその行動が役に立ちます。

👤 万が一夢を諦めなければならなくなったとき、最初に絶望を味わうこととなりますが、すぐに切り替えをして新たに進路活動を行わなければ、不安とずっと戦うこととなります。将来自分が就きたい職種や、やりたいことが見つからないときは、好きなことにとらわれず、「これなら自分でもできるかもしれない。」と考えてみると、進路選択の幅が広がります。本格的に進路活動が始まる前に将来の夢を持っていると、3年生になってから焦ることはまずないと思います。

👤 私が進路活動をするにあたって大切だと思ったことを紹介します。①目標を明確にする。②学校を見比べてみる。オープンキャンパスに行く。③自己分析をする。④家族に進路の話をしっかり伝える⑤試験対策を何度もする

👤 将来やりたいことが決まっている人も、決まっていない人も早めに行動したほうがいいと思います。高校の三年という時間はとても短いです。後でやればいいのかではなくやれるときにやっておくことを心掛けていれば、進路はスムーズに進めることができると思います。周りにはたくさん助けられる人がいることを忘れず、感謝の気持ちをもって頑張ってください。

👤 私がやっておいてよかったと思うことは、生徒会に入っていたことや、情報処理検定に合格していたことです。アピールポイントにもなるし、私の行く学校でも取得しなければならなかったもので、周りより一歩進むことができたからです。また、進路は自分だけで決めることはできません。必ず親に相談しておきましょう。お金を出してくれるのは親です。熱意が伝われば背中を押してくれると思います。(中略)最後に私の人生のモットーを教えます!「正解を選ぶのではなく、選んだ道を正解にする」ということです!皆さん、めげずに私と一緒に頑張りましょう!

👤 在校生へ伝えたいことが二つあります。一つ目は就職希望の人は特になのですが、2年生の頃から早めになりたい職種を決めておきましょう。部活などで忙しいときは学校での総合的な探究の時間を大切に使い職種を調べましょう。二つ目はしっかりと面接練習の数をこなして面接の雰囲気慣れましょう。

👤 3年生になる前に多くの検定を取得することや、積極的にボランティア活動に参加することが大切です。実際に私はビジネス文書検定2級を持っていたので、進学先の授業料免除Cランクに入ることができました。漢字検定2級にも挑戦しましたが、不合格でまたチャレンジしようと思った時にはもう遅かったです。2級を持っていればBランクに入ることができたので、もっと早くから取り組んで合格しておけばよかったと後悔しています。

👤 就職試験は試験科目が多く、様々な勉強をして対策しなければなりません。試験内容は会社によって違うので何が出題されてもいいように、普段の朝学習や課題に真剣に取り組んだほうがいいと思います。自分の夢をかなえるために頑張ってください。

👤 進路で悩んでいるのであれば普通コースを選択することをおすすめします。普通コースでは、進路を変更したくなった場合でも融通が利くからです。もし少しでも進路で悩んでいるのであれば普通コースに行きましょう。また、進路希望実現は、自分一人だけでは難しく、友達や親、先生方との協力が必要不可欠です。日頃から感謝されるような行動をとり、信頼されるような人間になりましょう。そうすれば受験も必ず大丈夫です。受験では緊張すると思いますが、その緊張を力に変えて頑張ってください。応援しています。

👤 私が企業見学を通して学んだことは、「よく企業を調べてから見学に行くこと」でした。1社目は、自分がよく知っている化粧品を販売しているということだけを理解し、その企業については全然わかっていなかったことに気づき、とても後悔しました。2社目は、前回の反省を踏まえ、企業を調べたり、質問の内容を用意して見学に行きました。聞きたいことをしっかりと聞けたし、さらに企業についてもよく知ることができました。質問内容をしっかりとメモしておく、非常に面接で役立ちます。企業見学の前にしっかりと準備することをお勧めします。

(裏面へ続く)

😊進路活動は思っていた何倍も大変でしたが、目標をしっかり立て早くから準備・計画し自分から積極的に考え行動すること、努力することの大切さを学ぶことができました。進路のことで困ったときは、1人で悩まず周りの人に沢山相談して下さい。後輩の皆さん、進路実現に向けて最後まで諦めずに頑張ってください。

😊私が大切だと思うことは、両親と相談することです。お金の面など話しづらいこともありますが、自分一人では何もできないので、その学校はいくらお金がかかるのかを伝えることが大切です。また、進路活動は自分から行動するようにしましょう。あくまでも先生はサポートです。先生に言われてからやるのでは、後から痛い目を見ます。ですから、自分の予定を把握して、期限前に提出する書類を完成させられるようにしてください。あきらめなければ夢は叶うので、夢に向かい今できる精一杯のベストを尽くしてください。応援しています。

😊私が進路活動に関して伝えたいことは3つあります。よければ参考にしてください。①インターネットを有効活用しよう！②継続は大切！③積極的な参加や挑戦！

😊同級生は皆それぞれの進路活動で忙しくなり、教室は緊張感のある空気になります。少しずつ進路が決まった人が増えていきますが、同級生全員が進路決定するまでが進路活動です。3年生になってからはいつも以上に周りを気にして行動するようにしましょう。騒いでいると、勉強している人や面接練習に向けて準備をしている人など、それぞれの活動の邪魔をしてしまいます。周りのことを気遣い、行動できる人が、社会に出てから活躍できる人だと思います。

😊私は勉強が嫌いで1、2年生の頃は全く勉強していませんでした。しかし、3年生になり部活動を引退してから少し勉強する時間を増やしました。すると順位はどんどん上がり、3年生になってから、勉強した分結果がついてくることに気が付きました。特に国語を頑張り、思考力、語彙力をつけましょう。必ず進路実現に役立ちます。



感謝

★学校の様子(2月の校内行事等から)

1年総発表会(2/21~22)

1年生が今年度の総合的探究の時間の学習の成果をPower pointを使って1人ずつ発表しました。探究コーディネーターの眞下さんをはじめ4名の方をお招きし、共に1年間の成長を確かめました。



3学年PTA・PTA役員会(2/21)

今年度は全体としてコロナ禍以前にほぼ匹敵する教育活動やPTA活動を行ったことを報告しました。寒い中、お仕事でお忙しいところ学校に足を運んでくださった役員の方々に感謝申し上げます。



福祉でまちづくり座談会(2/23)

今年度の福祉でまちづくりプロジェクトのまとめとして、県立大学宮城教授、小規模多機能ホームくじひらの職員の方々と大野高校生3名に校長も加わって、楽しいひとときを過ごしました。



地域公共交通に関するワークショップ(2/24)

久慈市地域づくり振興課の呼びかけで、1年生が地域公共交通に関するワークショップを行いました。人口減少や車社会の進展により利用者の減少が進んでいる公共交通の現状と、その維持確保の必要性を共有しました。



★今までお世話になりました(T_T)(離任される先生方からのメッセージ)

★屋形場 哲也先生(英語・卓球/総合文化)→軽米高へ

6年前に赴任し、多くの方々と触れ合う中で、様々なことを学ばせていただきました。皆様からのご支援ご協力、そしてご指導には深く感謝しております。お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

★泉田 貞子先生(地理・総合文化/吹奏楽)→ご退職

4年前、まだ私の名前も知らないはずの生徒が、廊下ですれ違うたびに元気な挨拶をしてくれました。春になるといつも思い出します。保護者や地域の皆様方、それに多くの教え子たちに支えられ感謝の気持ちでいっぱいです。4年間、ありがとうございました。

★内間 研治先生(数学・ソフトテニス)→盛岡北高へ

各種行事・授業で保護者の方々、地域の方々、企業の方々に本当にお世話になりました。私自身も生徒と同じ目線で楽しむことができました。地域とともにある大野高校の益々の発展をお祈り申し上げ、お礼の言葉いたします。

★角掛 裕喜先生(音楽・吹奏楽)→久慈拓陽支援へ

私は担当教科が音楽です。コーラスを中心に大野の皆様と関わらせていただきました。皆様の温かさを感じながら、地域と強い結びつきを持つ大野高校のよさを実感しております。大変お世話になりました。ありがとうございました。

★坂本 貴大先生(生物・卓球)→盛岡二高へ

3年間お世話になりました。大野高校に勤務できたこと、大野の卓球に関わることができたこと、誇りに思っております。さまざまな方々の支えをいただいた3年間でした。感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

★北田 義徳校長(国語)→盛岡市立高へ

本校が地域の方々に愛され、守られていることを日々肌で感じながら、教育活動にいそむことのできた幸せな2年間でした。職員・生徒は毎年入れ替わりますが、本校創立の精神と伝統は脈々と受け継がれていきます。今後とも大野高校のことをよろしく願います。

★1年間ありがとうございました。来年度も大野高校をよろしく願います!!